



バグダッドLO日々業務報告(2月10日1830)



| 区 分 | 内 容 |
|----------|--|
| 1 警戒態勢等 | (1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 なし (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは[REDACTED]、バグダッド及びモスルは[REDACTED]、ラマディは[REDACTED] |
| 2 特記事項 | なし |
| 3 本日の業務 | 情報収集及び連絡調整 |
| 4 明日の予定 | 情報収集及び連絡調整 |
| 5 その(備考) | なし |

バグダッド 日 誌 (2月10日)

○Sustainment(部隊を維持するために)

MNF-I情報部で勤務する米陸軍少佐と昼食をしていた時、「バグダッドでどのくらい勤務するのか?」との質問をされ「約6ヶ月だ。」と答えた。すると、「Pretty good for you」との反応がかえってきた。米軍のOIFにおけるローテーションは陸軍は1年、海軍・海兵隊が6ヶ月、空軍は4ヶ月だそう。陸軍は、1年の派遣中に2週間の休暇が1回与えられ、アメリカへのエア・チケットとホテル代が支給されるそうである。

各軍種間におけるローテーションの長短がある理由は分からないが、「陸軍は部隊交代の際に、装備もすべて入れ替えるため、あまり頻繁に交代はできないのだろう。」と話していた。ちなみに海兵隊は6ヶ月交代ではあるが、ほとんどのものが半年間、原隊にもどり、またイラクに派遣されるそうである。米軍のローテーション事情はなかなか厳しそうである。

昨晚、MNC-I情報部でナイト勤務している[REDACTED]が、眠気が最も強くなるであろう午前2時頃に激励に行った。情報部に行く途中、MNC-I本部(Joint operation center)の前を通るので中の様子を確認すると、毎朝私が指揮官報告に参加している時以上に活気のある幕僚活動を実施していた。最も忙しいであろうC-3のBattle Major(MNC-Iの運用幹部)と偶然目があい、少し話をすることができた。彼のポジションは、3人で12時間シフトを組んでいて、「今日はナイトだから楽だよ。」と話していた。激戦の運用幹部以外のほとんどは2人で12時間シフトで勤務しているようだ。

中隊長上番時に3夜4日の中隊検閲を受閲した際、文字通り不眠不休で頑張ったが、最後の夜は意識が朦朧としていたのを思い出す。4日で状況が終了すると思えば眠らずに頑張れるが、実オペレーションは、終わりのないことを前提に勤務すべきだと当時の自分を反省した。

